








支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 **	担当者 	入力 	財政課合議 **	検収者	


起票日	令和 4年 9月 2日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 4 年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細 節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	
予算区分	0 現年度		

金額	10,380 円	控 除	所得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	6 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000 円		そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	140,739 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	459,261 円		請求書番号		
源泉支払内容	*****				

件名 研究研修費 10/13~10/14 第84回全国都市問題会議参加負担金及び振込手数料

摘要

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和4年 9月15日
債権者等	住所		
	名称	会派に属さない議員連合代表者 高橋 登	
	役職等/氏名		
	銀行/口座		
	口座名義人	債権者番号	

領収	住所		領収印	
	氏名	会派に属しない議員連合代表者 高橋 登		

上記の金額を領収しました。

支払済

令和4年 9月15日
泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

001

負担行為番号
04-000674

伝票番号
04-009088









呼出番号

整理番号
04-000008-06



00452744

04 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号(第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和4年9月2日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 会派に属しない議員連合
代表者名 高橋登 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	10,380円		
内 訳	10/13~10/14 長崎県長崎市 第84回全国都市問題会議参加負担金及び振込手数料		
支払先	(株)JTB		
予算科目	研究研修費	交付残額	459,261円
使用者名	高橋 登		

請求書番号： 2022-8795-00301

請求書発行日： 2022年9月8日

請求書



感謝のそばに、いつも。

高橋 登 様

2022年10月13日～2022年10月14日
【第84回全国都市問題会議】

株式会社JTB
長崎支店
〒850-0035
長崎市元船町14-19
橋本商会ビル別館6階
支店長：平尾 武敏

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。
2022年9月30日 までに、お支払いくださいますようお願いいたします。
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

¥ 10, 000*

※軽減税率対象

番号	品名	単価	利用数	金額	備考	消費税
1	代行預り金 会議参加費	¥10,000	1	¥10,000		対象外
合計				¥10,000		
代金計				(税込) ¥10,000	うち消費税	¥0
				(対象外) ¥10,000		¥0
【振込先】	振込手数料は、お客様負担でお願い致します。			【お問合せ先】株式会社JTB長崎支店 TEL：095-824-2400	担当者名：	

だいしんキャッシュサービス
ご利用明細票

！本日はご利用いただきありがとうございます。
ご利用明細票をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面もご覧ください。

お取扱日	取扱金庫・店番・通番		
04 09 15	1630074マ-0138		
お取引店	口座番号		
お取引金種	万円	千円	円
お取引内容	振込	円	円
手数料	¥380	ページ	お取引金額
刻	15:01		¥10,000*
説明コード	お取引後残高		

お受取人

ご依頼人

イヌミオツシキカイ タカハシ ノボル
様 0725331131

印紙税申告納
付に
税務署承認済

大阪信用金庫

No.0881

会議参加費 領収書
会派に属さない議員連合
高橋 登 様

金 10,000円








但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和4年10月13日

第84回全国都市問題会議実行委員会
会長 田上富久



支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	

起 票 日	令和 4年 9月 22日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 4年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
目	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	
年度	令和 4年度	予算区分	0 現年度

金額	70,890 円	控除	所得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	7 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	211,629 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	388,371 円		請求書番号		
源泉支払内容	*****				

件名 旅費 10/12~10/14 長崎県長崎市 第84回全国都市問題会議参加

摘要

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和4年 10月11日
債権者等	住所	名称	会派に属さない議員連合代表者 高橋 登
	役職等/氏名	銀行/口座	
	口座名義人	債権者番号	

領収 住所 氏名 会派に属さない議員連合代表者 高橋 登

上記の金額を領収しました。









支払済

令和4年 10月11日 泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

001  負担行為番号 04-000674
伝票番号 04-010383 呼出番号
整理番号 04-000008-07  00456540

04 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和4年9月22日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 会派に属する議員連合
代表者名 高橋登 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	70,890円		
内 訳	10/12~10/14 長崎県長崎市 第84回全国都市問題会議 参加旅費		
支払先	高橋 登		
予算科目	旅費	交付残額	388,371円
使用者名	高橋 登		

令和4年度

出張申請書

(出張)

会派名	会派に属さない議員連合		氏名	高橋 登				
出発・帰庁年月日		出発 令和4年10月12日		帰庁 令和4年10月14日				
出張先(順路)		出島メッセ長崎(長崎県長崎市尾上町4-1)						
目的及び用件		第84回全国都市問題会議に参加						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 450	円	円	円	円	円	円 450
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港				650				650
" (飛行機) 長崎空港		JAL2375便 (スーパー先特) 10,840						10,840
" (長崎空港リムジンバス) 長崎駅前ターミナル 長崎				1,000	2泊 30,000	3日 7,000		38,000
" (西九州新幹線) 武雄温泉	69.6	774.4	11,220					14,410
" (リレ-かもめ) 博多	81.9							
" (九州新幹線・ 山陽新幹線) 新大阪	622.9		特急料金 (のぞみ) 5,810					5,810
" (大阪外口御堂筋線) 難波			280					280
" (南海本線) 泉大津			450					450
(線)								
(線)								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 10月13日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。 </div>							計	70,890

主管課用

令和4年度









領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	会派に属さない議員連合		氏名	高橋 登				
出発・帰庁年月日		出発 令和4年10月12日		帰庁 令和4年10月14日				
出張先(順路)		出島メッセ長崎(長崎県長崎市尾上町4-1)						
目的及び用件		第84回全国都市問題会議に参加						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線)	km	円	円	円	円	円	円	円
難波		450						450
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線)								
伊丹空港				650				650
" (飛行機)		JAL2375便 (スーパー先特)						
長崎空港		10,840						10,840
" (長崎空港リムジンバス)								
長崎駅前ターミナル				1,000	2泊 30,000	3日 7,000		38,000
長崎 (西九州新幹線)			特急料金 (かもめ・ リレかもめ)					
武雄温泉	69.6	774.4	11,220	3,190				14,410
" (リレかもめ)								
博多	81.9							
" (九州新幹線・ 山陽新幹線)			特急料金 (のぞみ)					
新大阪	622.9		5,810					5,810
" (大阪外口御堂筋線)								
難波			280					280
" (南海本線)								
泉大津			450					450
(線)								
(線)								
10月13日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。						計		70,890
右の金額領収いたしました。				金額	¥ 70,890			
令和 年 月 日				職名	会派に属さない議員連合			
泉大津市会計管理者 殿				氏名	高橋 登			



□決 裁 ■供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号		収 受 年 月 日	令和4年11月2日		
差 出 名	会派に属さない議員連合 高橋 登				
あ て 名	泉大津市議会議長			提 出 期 限	
収 受 文 書 の 記 号		収 受 文 書 の 日 付	令和4年11月2日		
件 名	報告書				
	議 長	副 議 長	事 務 局 長	次 長	合 議
					
主	次 長 補 佐	議 事 調 査 係 長	庶 務 係 長	主 査	
管					
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項					
<p>日 時：令和4年10月12日（水）～令和4年10月14日（金）</p> <p>出張先：長崎県長崎市 出島メッセ長崎</p> <p>目 的：第84回全国都市問題会議に参加</p>					

報 告 書

会派代表者

高橋 登



令和4年11月2日

泉大津市議会議長 殿

会派に属さない議員連合

出張者 高橋 登



下記により出張したので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時：令和4年10月12日（水）～10月14日（金）
2. 出張先：長崎県長崎市（出島メッセ長崎）
3. 目 的：新型コロナウイルスが全国的に猛威を振るった影響で、昨年、一昨年と中止になり、3年ぶりの開催となった「全国都市問題会議」は、第84回を迎えた。今年は、『個性を生かして「選ばれる」まちづくり～何度も訪れたい場所になるために～』をメインテーマに歴史的文化を生かした観光開発に取り組む長崎市で開催された。

特に地域に埋もれがちな歴史遺産を掘り起こし、地域の観光と活性化に取り組む地域運動として発展させてきた実践を勉強させていただき、本市のまちづくりの参考にさせていただくため。

4. 報告内容

長崎市の出島メッセを会場に全国から 2100 名以上の参加者が参集して全国都市問題会議は、10月13日、14日の両日に亘り開催された。開催地が長崎市で開会時間が、13日9時30分からということもあって、前日午後、伊丹空港からの出発となった。

13日、宿泊ホテルから徒歩10分程で会場に到着、入場手続きを済ませたのち、会場前列に着席させていただいた。

まず、全国市長会会長の立谷秀清（福島県相馬市長）は、新型コロナウイルスの全国的な拡大は、まさに災害というべき事態を招き、各自治体のワクチン接種対策等しっかり理論武装もしながら地域福祉のために頑張っていたきた

いと開会あいさつを述べた。

開催地である田上富久長崎市長は、3年ぶりに開催される今回の都市問題会議の意義と議員、行政関係者の役割の重要性について述べられた。

基調講演は「民間主導の地域創生の重要性」と題して、高田旭人（株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼 CEO）が、父親であるジャパネットの創業者である高田明氏から社長を引き継いでから、地域創生にこだわり、長崎のプロサッカークラブ「V・ファーレン長崎」を立ち上げる等、地域を盛り上げるとともに、誰も気づけていない地域の魅力的な資源を見つけ出し、磨き上げ、全国各地に発信していくことで、長崎の活性化に貢献してきた実績を強調された。さらには、行政と民間の役割の違いを乗り越え、行政ではできないことを民間が積極的に担いながら、長崎スタジアムシティプロジェクトの実現に向けて、様々なアイデアを募集しながら、行政だからできること、民間だからできること、官民とそこに住む住民の方々と連携して、地域全体の幸福の総量を増やしていきたいと基調講演を結んだ。

次に「長崎市の魅力あるまちづくり」と題して、長崎市長の田上富久氏が主報告を行った。

地域の価値を見つけ出す視点で、令和3年10月にオープンさせた「長崎市恐竜博物館」を事例の一つとして紹介した。長崎半島から国内で初めてテラノサウルス科の歯の化石が発見されたことから「長崎と恐竜」という新たな価値を見出し、価値ある長崎をアピールできたということであった。

また、昭和49年に閉山した端島炭鉱（軍艦島）は、明治日本の産業革命遺産製鉄、製鋼、造船、石炭産業の構成産業の一つとして、2015年に世界遺産に認定され、世界的価値を見つける代表的な事例であると力説された。さらには市民が主体的にかかわって創り出してきた「まちぶらプロジェクト」や長崎さるく（まちあるき）130年ぶりに架橋された出島表門橋、景観専門監制度の導入等々は、それぞれ地域資産の価値を磨き、価値を生み出し、人々の交流の中で「長崎ライフ」がより豊かなものとして、町で暮らす人にも、街を訪れる人にも魅力的なまちとなり、持続可能な地域社会の構築に繋がるものとなると報告した。

昼食休憩を挟んで午後1時30分からは、一般報告として「地域との新しい関わり方・関係人口」と題して、田中輝美さん（島根県立大学地域政策学部准教授）は、人口減少が進行する中であって、短期間の交流や観光という関わり方でなく、長時間暮らし続ける定住という関わり方でもない、新しい地域との関わり方を「関係人口」と定義づけて、若い世代と中心にアピールしたという。

鳥取市の学生が「株式会社週末住人」を週末に民泊とコミュニティ事業を立ち上げて運営している事例や島根県雲南市の週末に農家の草刈り応援隊を立ち

上げて地方と都市の交流で地方の過疎問題に取り組む事例などを紹介した。これらの関係人口を発展させるポイントは、①名前が覚えられる規模にすること（量より質）②準備からかたづけ、打ち上げまで一緒になってやる（お客様は神様扱いしない）③住民の思いや背景も理解し伝える（ストーリー化する）など考えなければならない重要な視点を提起し、都市と地方を固定化せず、かき混ぜ、若者が「僕らは地方で幸せを見つける」を言わしめるような「関係人口」をつくりだすことと提起した。

休憩を挟んで、ビジョンを活かしたまちづくり～「選ばれる山形市」を目指して～と題して、佐藤孝弘氏（山形市長）から2本目の一般報告が行われた。

佐藤氏は、山形市長として現在2期7年目を迎えるという、山形市は、平成31年に中核市に移行し、まちづくりの視点として①他にはないまちの魅力を磨いて発信する②このことを加速するために市としてのビジョンを内外に示していくことをモットーにまちづくりを進めてきたと報告。特に「健康医療先進都市」「文化創造都市」を2大ビジョンとして掲げ、まちづくり施策を展開してきたという。市民の健康寿命の延伸が最大の課題として、「歩くこと」を補完する公共交通機関の充実をまちづくりの中心に据えてきたという。さらに文化創造都市の拠点として、本年、「やまがたクリエイティブシティセンターQ1（キューイチ）をオープンさせた。小学校の旧校舎をリノベーションして「文化創造都市」施設として再活用させ、山形市の都市ブランド力の向上と持続可能なまちづくりを目指していくと報告された。

一般報告の最後に「交流の産業化」を支える景観まちづくり～長崎市景観専門監の取り組み～と題して、高尾忠志氏（一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事）は、長崎市のまちづくり戦略として、長崎の町は、長崎らしい個性を持った選ばれる地域とするために長崎景観専門監を市長の発案で導入されたという。景観専門監は、①長崎市が行う公共事業のデザインの指導と管理を行う②長崎市職員の育成という二つのミッションが与えられ、個々の公共事業のよって、まちに『価値』が想像され、小さな事業でも長崎市民の生活の質を向上させ、まちへの愛着と誇りを育てるきっかけとなり、長崎に来る方々に来てよかったと言ってもらえるような体験に貢献できることが目的であると報告された。さらには、人間の欲求を①生理的な欲求②安全の欲求③社会的欲求④承認欲求⑤自己実現欲求の5段階の欲求である「マズローの欲求5段階説」を引用して、時代が求める価値とは何かを解説された。地域の価値を高めるためには、社会的な支持を得る必要があり、住む人訪れる人の欲求を満たすことが重要であると解説し、価値を創造するデザインマネジメントの必要性と人材こそが未来を創っていくと強調して、報告を締めくくった。

17時に第一日目の研修会議を終え、ホテルに戻り二日目の研修に備えた。

二日目は、9時30分から「個性を活かして「選ばれる」まちづくり～何度も訪れたい場所になるために～」をテーマにパネルディスカッションが行われた。

まず、コーディネーターの大杉覚氏（東京都立大学法学部教授）が「選ばれる」まちづくりへの多様なアプローチについて、パネリストの野口智子さん（ゆとり研究所所長）田中敦氏（山梨大学生命環境学部教授）桐野耕一氏（NPO 法人長崎コンプラドール理事長）都竹淳也氏（岐阜県飛騨市長）藤原保幸氏（兵庫県伊丹市長）のそれぞれから問題提起を行って頂いたのち、会場からの質問を受け付けた。質問に立った、埼玉県から参加したという議員は、「埼玉をどのようにアピールして観光につなげたらいいのか？」と率直な質問を投げかけた。パネリストからは、「まちの魅力を見直し、何度も訪れたいとは、どういうことをぜひ考えていただきたい」また、「自らの存在がそこで認められ、楽しい繰り返し言ってみたいと思える場所にしておくことが大切ではないか。」等々、積極的な議論が交わされ、二日間にわたる研修を終えることできた。

研修の最期を盛り上げる形で、地元の女子高校生グループが、長崎「龍踊り」を披露し、参加者の労をねぎらっていただいた後、次回開催地に予定されている青森県八戸市長から閉会のあいさつを受けて、正午過ぎの閉会となった。

午後からは、六つのコースに分かれての行政視察が予定されていたが、私は、行政視察には参加せず、本年9月23日に開業した西九州新幹線かもめに乗り込み、帰阪の途に就いた。

所見

コロナ禍の中で3年ぶりに開催された「全国都市問題会議」であったが、全国から2100名を超える参加者で盛況のうちに開催されたことは、何よりであった。いまだ終息されないコロナウイルスの感染状況ではあるが、感染対策を十分とっていただいた主催団体、関係者に感謝申し上げるとともに研修の重要さと議員、行政関係者の資質向上に寄与できたことを実感させていただいた視察であった。

以上